HSBC Asset Management

ご参考資料

インド輸送インフラの未来図

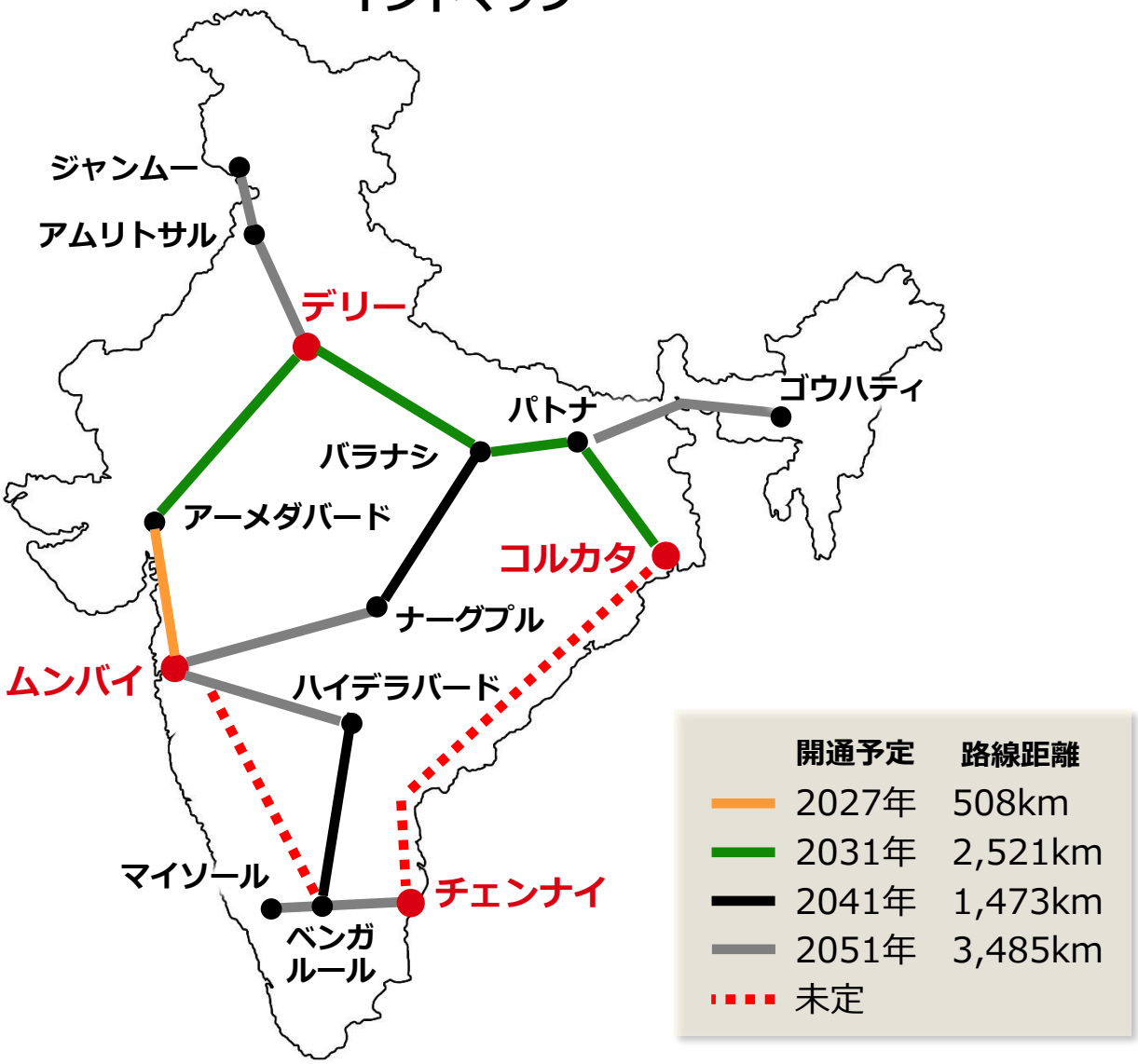
2024年1月

- インド政府はインフラ投資の中でも特に「輸送」分野に注力しており、今後、様々な移動手段の拡大と向上が期待されています。
- なかでも、「鉄道」と「高速道路」の発展は日本の高度経済成長期同様、人々の生活を豊かにしつつ、今後のインド経済の成長に大きく貢献することが期待されます。

① 高速鉄道（含むダイヤモンド四角形プロジェクト）

- ✓ インドでは2027年に開業予定の「ムンバイ ～ アーメダバード」間を皮切りに、長期に亘る高速鉄道網の拡大が計画されています。
- ✓ 2050年を目途に概ねインド全土に渡る高速鉄道網の整備が完了する見込みであり、インド国内の移動手段の飛躍的な向上と、経済効果が期待されます。

インドマップ



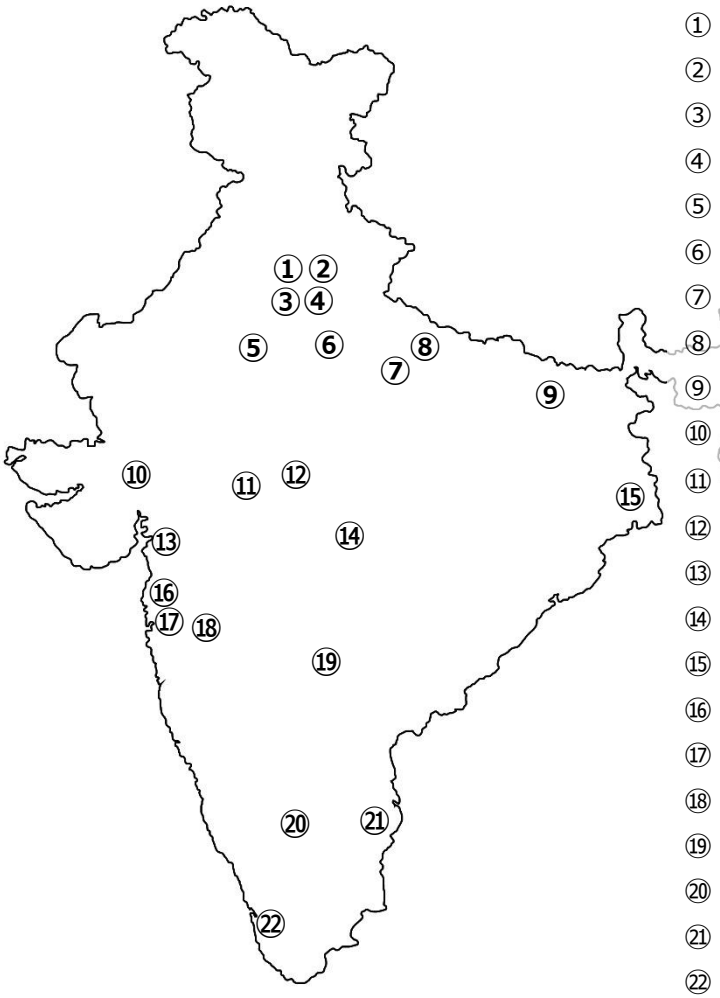
出所： インド国家鉄道計画（NRP）各種報道をもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成。

② 都市交通開発（地下鉄）

- ✓ インドでは州政府による管理の下で全国的に地下鉄網が急速に拡大しており、目先多数の新路線が開通する予定です。
- ✓ 2030年までに新たに約2,000kmの建設が予定されており、今後各地域における経済活動の拡大に大きく寄与することが期待されます。

主な都市の地下鉄整備状況
（右表の単位は「km」、2023年12月時点）

インドマップ



2030年までに約2,000km開通予定！

	都市名	開業距離	建設中	建設予定	提案計画
①	デリー	351.3	65.1	0.0	57.3
②	メーラト	0.0	20.0	0.0	15.0
③	グルグラム	12.1	0.0	0.0	200.0
④	ノイダ	29.7	0.0	15.0	70.0
⑤	ジャイプール	12.0	0.0	0.0	27.7
⑥	アグラ	0.0	11.9	17.5	0.0
⑦	カーンプル	8.7	22.6	0.0	8.6
⑧	ラクナウ	22.9	0.0	0.0	85.0
⑨	パトナ	0.0	22.1	8.8	0.0
⑩	アーメダバード	37.9	29.7	0.0	5.0
⑪	インドール	0.0	16.2	15.3	57.2
⑫	ボーパール	0.0	6.2	21.7	77.1
⑬	スーラト	0.0	41.9	0.0	0.0
⑭	ナーグプル	38.2	0.0	48.3	0.0
⑮	コルカタ	47.9	47.7	28.2	15.7
⑯	ムンバイ	46.5	133.9	21.3	136.4
⑰	ナビムンバイ	11.1	0.0	0.0	95.3
⑱	プネ	23.8	30.8	4.4	106.5
⑲	ハイデラバード	67.0	0.0	0.0	63.0
⑳	ベンガルール	72.2	97.8	0.0	105.6
㉑	チェンナイ	54.1	116.1	0.0	15.3
㉒	コチ	26.8	1.1	12.4	0.0
	合計	**862.2**	**663.1**	**192.8**	**1140.7**

【ご参考】日本の地下鉄営業路線総延長 851.5km

※2023年3月時点

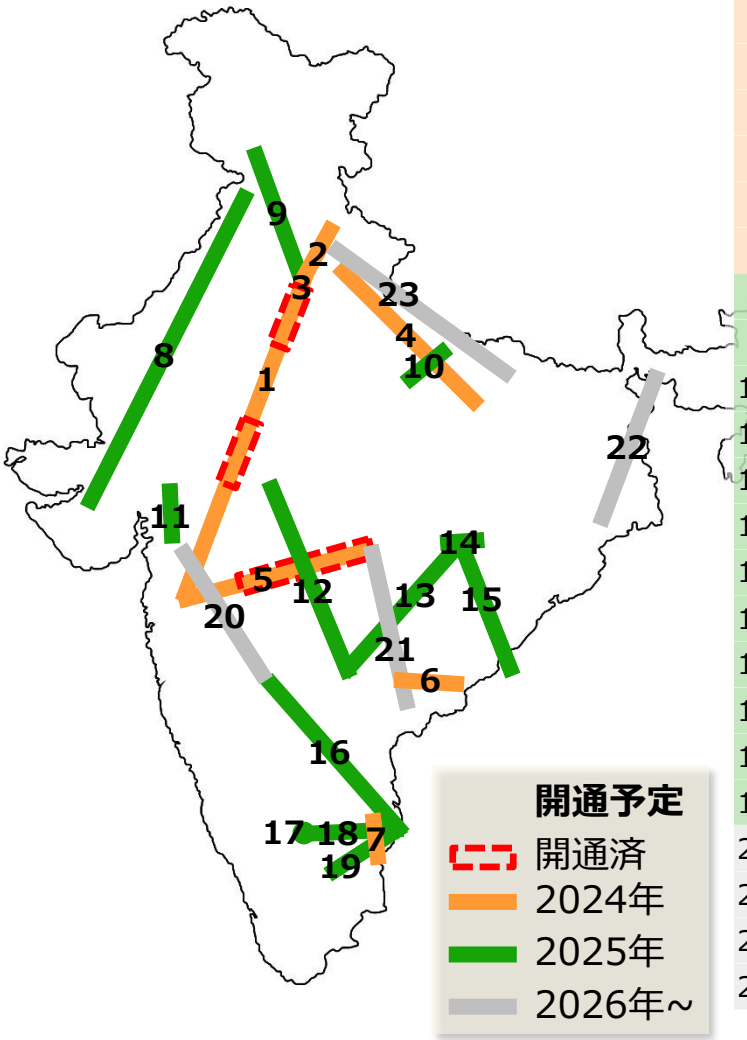
出所：The Metro Rail Guy、日本地下鉄協会、各種報道をもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成
※上記計画は今後変更となる可能性があります。上記は主な計画を抜粋したものであり、全てを網羅しているわけではありません。

③ 高速道路

- ✓ インド政府は国道をはじめ道路整備にも注力しており、着実に進展しています。
- ✓ 今後数年のうちに完成することが見込まれる高速道路プロジェクトは1万キロ以上にも達し、社会問題である道路渋滞の緩和により経済活動の活性化に寄与することが期待されます。

主な高速道路建設予定
（右表の単位は「km」、2023年12月時点）

インドマップ



	区間	距離	開通予定
1	デリー ～ ムンバイ	1,350	2024年
2	デリー ～ デヘラードゥーン	169	2024年
3	デリー内	75	2024年
4	メーラト ～ プラヤーグラージ	594	2024年
5	ムンバイ ～ ナーグプル	701	2024年
6	カンマム ～ デバラパッレ	162	2024年
7	チットゥール ～ ザッチュアー	116	2024年
8	アムリトサル ～ ジャームナガル	1,257	2025年
9	デリー ～ カトラ	650	2025年
10	カーンプル ～ ラクナウ	63	2025年
11	アーメダバード ～ ドレラ	109	2025年
12	インドール ～ ハイデラバード	687	2025年
13	ハイデラバード ～ ラーイプル	568	2025年
14	ドゥルグ ～ アラン	92	2025年
15	ラーイプル ～ ヴィシャーカパトナム	464	2025年
16	ソーラープル ～ チェンナイ	707	2025年
17	ベンガルール内	281	2025年
18	ベンガルール ～ チェンナイ	260	2025年
19	チェンナイ ～ セーラム	277	2025年
20	スーラト ～ ソラプール	513	2026年
21	ナーグプル ～ ヴィジャヤワーダ	405	2027年
22	カラグプル ～ シリグリ	516	2028年
23	シャムリ ～ ゴーラクプル	700	未定
	合計	**10,716**	

【ご参考】NEXCO東日本の高速道路の営業総延長 3,943km

※2023年7月時点

出所：The Metro Rail Guy、NEXCO東日本、各種報道をもとにHSBCアセットマネジメント株式会社が作成
※上記マップは、予定計画の始点と終点を直線で結んだものであり、実際の経路とは異なることがあります。
上記計画は今後変更となる可能性があります。上記は主な計画を抜粋したものであり、全てを網羅しているわけではありません。
上記開通予定時期は計画全てが完成することを指し、既に一部開通しているものもあります。

留意点

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、HSBCアセットマネジメント株式会社（以下、当社）が投資者の皆さまへの情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品の売買、金融商品取引契約の締結に係わる推奨・勧誘を目的とするものではありません。
- 当資料は信頼に足ると判断した情報に基づき作成していますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、データ等は過去の実績あるいは予想を示したものであり、将来の成果を示唆するものではありません。
- 当資料の記載内容等は作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
- 当社は、当資料に含まれている情報について更新する義務を一切負いません。

＜個人投資家の皆さま＞

投資信託に係わるリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象としており、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価額が変動し損失が生じる可能性があります。従いまして、投資元本が保証されているものではありません。投資信託は、預金または保険契約ではなく、預金保険機構または保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関でご購入の投資信託は投資者保護基金の保護の対象ではありません。購入の申込みにあたりましては「投資信託説明書（交付目論見書）」および「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」を販売会社からお受け取りの上、十分にその内容をご確認いただきご自身でご判断ください。

投資信託に係わる費用について

購入時に直接ご負担いただく費用	購入時手数料　上限3.85%（税込）
換金時に直接ご負担いただく費用	信託財産留保額　上限0.5%
投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用	運用管理費用（信託報酬）　上限年2.20%（税込）
その他費用	上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。「投資信託説明書（交付目論見書）」、「契約締結前交付書面（目論見書補完書面等）」等でご確認ください。

- 上記に記載のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。
- 費用の料率につきましては、HSBCアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。
- 投資信託に係るリスクや費用はそれぞれの投資信託により異なりますので、ご投資される際には、かならず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ＨＳＢＣアセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第308号
加入協会　一般社団法人投資信託協会/一般社団法人日本投資顧問業協会/日本証券業協会

ホームページ
www.assetmanagement.hsbc.co.jp

電話番号　03-3548-5690
（受付時間は営業日の午前9時～午後5時）